

第18回運営推進会議 議事録

実施日 令和7年3月19日

議事録作成担当

リハビリデイサービスnagomi成城店 河野樹

●協議参加者（順不同・敬称略）

砧あんしんすこやかセンター：宇野 くるみ	タガヤセ大蔵デイ：是永 雅之
砧デイサービスセンター：小泉 貴宏	ほじえじステーションニ子玉川：佐々木 拓男
ひばりデイサービス砧公園：齊藤 ゆみ	ひばりデイサービス砧公園：溝口 明日香
グリーンデイ用賀：富田 洋平	リハビリデイサービスnagomi成城店：河野 樹
岡本自治会会長：荻野 壽一	砧町自治会会長：鈴木 清美
民生委員：福島 百子	nagomi 成城店ご利用者：野原 敏男

1.活動報告（各事業所の活動状況報告）※下段に活動報告書記載事項補足

●ほじえじステーションニ子玉川

半日(AM/PM)機能訓練特化型デイ

マシン5台（下半身・上半身・持久力）、平行棒歩行訓練。グループエクササイズ等による機能訓練実施。

定員15名(月～金)祝日も通常営業。

※平均利用者数570名。平均年齢86歳（最高齢：97歳）、平均介護度1.8。

事故発生件数2件

- ・片麻痺の利用者が杖なしで移動してしまい、椅子に足をかけて転倒。
- ・座位時、背もたれ側を前に跨いですわっていたところ、そのまま後ろへ転倒。

今後の予定：年1回の日帰り旅行はコロナ禍・感染予防の為、昨年までは中止。本年度は開催を検討していたが、開催は厳しいと判断。人数の少ない曜日に外出予定。

●まなびや砧（砧デイサービスセンター）

平均年齢：86.7歳 平均介護度は2.45

定員：18名 月～金曜日（土日祝日、年末年始を除く）。

令和6年10月付で定員18名の地域密着型通所介護に事業移行。従来の1日型から半日型に変更（1日利用も可）。

趣味活動：「歌声広場」「ゆびさき元気」「からだ元気」といったように曜日と時間に応じて多彩な趣味活動を用意。

昨日訓練：6台のトレーニングマシンを用いたパワーリハビリが主にしているが、ご利用者様の身体状況に合わせて訓練指導員がマンツーマンで対応する歩行訓練なども実施。

月に数回イベントデーを設け、外食・買い物ツアー・お花見。敷地内にキッチンカーや移動スーパーなどを呼ぶなどして、地域の方々にもご利用いただけるようにしている。

※平均利用者数253名。事故発生件数0件。

今後の予定：毎月1回 理美容ボランティア、毎月1回 福祉ハンドネイル
毎週月曜日 移動スーパーとくし丸来訪

●グリーンデイ用賀

1日型（入浴、リハビリ、外出）

お出かけイベントを毎週実施。

平均年齢：83歳 平均介護度：2.29 平均利用者：372名 利用定員：18名（土曜日：10名）

事故発生件数 転倒1件。

トイレ内での転倒。整形外科にてレントゲン異常なし。左大腿部打撲。

今後の予定

- ・御朱印めぐり（阿豆佐味天神社）
- ・東京都庁&老舗あんみつ屋さん
- ・江の島でシラスを食べに行こうツアー
- ・ペーパークラフトでリアル兜制作。お昼は喫茶店でランチ。

●タガヤセ大蔵デイ

利用定員：10名のアットホームな施設

昼食は利用者と作成、園芸活動。月に3～4回の園芸クラブにて花の植え替えや野菜のお世話をしている。

平均利用者数：182人。平均年齢：86.08歳、平均：介護度2.63。

事故発生件数：0件

今後の予定：月に一度、お茶菓子クラブ、季節のイベント食をご利用者と考えて実施。
妙法寺に花見外出予定。

●ひばりデイサービス砵公園

1日型の地域密着型通所介護サービス。

少人数制を活かし、集団体操や認知予防トレーニング、口腔体操、集団レクリエーション、音楽療法、個別トレーニング、役割の構築などを行っている。

【運動・機能訓練】

集団体操、認知予防トレーニング、個別での機能訓練やマシン運動、歩行訓練など。

【レクリエーション】

「心を動かし身体を動かす」をテーマに園芸療法や音楽療法を取り入れたレクリエーションの他、「運動×レク」「季節を感じる料理・工作・年間イベント」年間イベントを実施。

【季節行事】

年間計画で実施。

【地域交流】

ご利用者様ご家族の所属する和太鼓団体様にボランティアで演奏して頂いた。

定員 18名、 平均利用者数 405名

平均年齢 87.9歳 平均要介護度：3.3

事後発生件数 1件

昼食前の口腔体操中に車椅子で自走され、お1人でトイレに行かれる。職員がご様子確認に伺うと車椅子用トイレの床で尻餅をついた。

本件以降、トイレ内付き添い介助に変更し、その後は同様事故なく経過。

今後の予定：3月下旬～4月 砵公園お花見予定。年間行事に準ずる。

●リハビリデイサービスnagomi 成城店

リハビリストレッチ 生活リハビリ・ロコモ予防エクササイズ 脳活性化プログラムを提供。

- ・歩行サーキット利用（要支援、要介護の方実施可能。平行棒・段差・スロープ使用）
- ・個別機能訓練（要介護のみ実施可能）
- ・口腔機能訓練（要支援、要介護実施可能）

定員 18名 平均利用者数 533名

平均年齢 86歳 平均要介護度 1.39

事故発生件数 1件

帰りの誘導時、玄関先の椅子の手前で転倒。看護師により血圧・外傷の確認。cm様・ご家族への報告対応。

今後の予定：プログラムに大きな変更はなし。今後ご利用者様の健康維持・改善できるように運動プログラムを提供・自宅内でもできる体操をお伝えしていく。

【議題】 事故報告及び再発予防策・事故防止のために各事業所 各事業所で行っていること・意見

ひばりデイサービス砵公園

・前回の運営推進会議で他の事業所が行っていた、自立度によってA～Dの4段階にランク分けを参考にした。全職員がA～D理解をしたことにより、前回の運営推進会議時よりも事故が減ったのではないかと考えている。またそこらご利用者様の状態変化が常にあるのではないかと考えている。他事業所で工夫していること・情報更新を見直しているか・またどういったマニュアルを用意しているか聞きたい。

→タガヤセ大蔵

利用定員が少ないこともあって行いやすいのもあるが、毎月会議でADLのチェック表を更新するようにしている。

→まなびや砵

介助のランクが変化しているため、毎日の夕方のミーティングの時に歩行介助に特化しているが変化があったのではないかとご利用者様を確認。その都度判断を行っている。

→グリーンデイ用賀

運営中に気が付いたことなどを終礼で話す。月1回社員が集まり、ミーティングを行う際に準備として気付きシートを記入してもらっている。1ヵ月で気が付いたこと・業務改善・ご利用者様の变化など。1人3枚。そこで対策を検討するようにしている。

nagomi 成城店

今回の転倒事故について、nagomi 成城店の出入り口が狭いことも要因の1つと考えている。ルールとして1対1での見守りを徹底しているが玄関先での転倒事故を起こしてしまった。要支援だから要介護だからという判断も今回の事故に繋がってしまった可能性がある為、A～Dといったランクの振り分け方などを教えてほしい。また、どこまでが見守りの範囲なのか。

→ひばり砵公園

介護度で決めているわけではなく、ご利用者の足腰の状態がどうかなどを見て分けていたりしている。座り方が危ない人もいる場合は座るところまでは必ず付き添うようにしている。

室内の環境によって起きたものなのか、日常的に起こりそうなのか。

常に付き添われることがご利用者様にとっては煩わしいと感じることがある為、その人のお気持ちに寄り添って行動している。

→nagomi 成城店

常に付き添われるというところで、過度な介助を嫌う方が多くいる印象。そういった方こそ見守りが必要な方が多く、見守りの距離感を保つようにしているがご納得いただけないことも多い。ルールだから見守りをしているなど介助ルールを厳密化したことで今回の事故が起こった可能性がある。

→nagomi 成城店 ご利用者 野原様

介助につかれるのは必ずしも嫌ではない。

ひばり砦公園

ご利用者様との何でも話せる関係作りが重要。他事業所ではそういったことを行っているか。

→グリーンデイ用賀

基本的にはその方の状況、環境で過ごしているのかをスタッフが理解していないとその方に添ったサービスができない。契約に行ったときにとったご利用者の情報、生活歴などを共有することが大事。

→ひばり砦公園

ご家族と密にコミュニケーションをとって情報を得たり、要望を伺いながら対応するようにしている。

事故についてのオンライン勉強会を視聴してみたところ、事故を0にすることが難しい。何故その事故が起きたのかをという部分を。何故5回繰り返して分析して再発をしないようにするという考え方が大事。

防ぐことが難しい事故を起こしてしまった、職員を追求するのはおかしいという内容だった。

→まなびや砦

法人として、H14年～ISO取得。サービスの品質向上、不適合サービス（事故発生等）が起きた場合の対応の仕組みづくりを組織化。

5WAY・・・5回何故を繰り返す、事故報告書作成作業等職員に浸透してきている。

→ひばり砦公園

前回の運営推進会議で4回事故を起こしている当施設は多いのだと感じた。そこからリスクマネジメント、事故を減らす取り組みを大事にしなければと思っていた。

2. 各自治会長様、民生委員、事業所間での質疑応答、ご意見、共有事項等

●質問

荻野会長(岡本自治会)

Q：グループホームなどに関わりがある為、事故やヒヤリハットなどの報告を聞くことがある。逆に察知して未然に防げたなどのものがないのか。工夫されていることを事業所間で共有するとよいのでは。

A：ひばり砦公園→書式として事故件数及び対応方法となっているが、未然に防げたものなどをいれてもよいかもしれない。

まなびや砦→特養の方で行っていることで、ニヤリホットというものをしている。良い取り組みを広めていく。同じことができれば良い方向になるのでは。

Q：トイレの鍵はついている？

A：ひばり砦公園→ついています。外からも開けられるようになっている。ひばり砦公園の場合はトイレの鍵はせずに車椅子で入って行かれて戻りが遅いと思い見に行ったら転倒されていた事例もある。

ナースコールがついている為、なにかあれば押してくださいという声掛けも行っている。

nagomi 三浦

以前、研修チームのトレーナーをしていた時期がある。転倒を予防するにあたって事前に防ぐことが大切。営業中に事故を起こさない技術的に教えていたことがある。

立ち位置、体の向き、目線の配り方が大事。

全体が見える周辺視野の確保やさりげない会話で介助に抵抗感なく介助に入ることができる。

→ひばり砦公園

何となく実施していることも言語化すると頭が整理しやすい。

・荻野会長

ランク分けでA～Dにおいて文章化しているのか。

→ひばり砦公園

文章化することは難しい。明らかに自立で問題ない方、認知症状がない方がA。杖を使っていてふらつく方はB（付き添いまで）。トイレ介助などが必要になるとC～Dになる。

→まなびや砦

介助の仕方等ある程度はあるが、詳細の文章化は難しい。

●運営推進会議の感想や意見

鈴木様（砦町自治会会長）

皆さんの苦勞が伝わった。しっかりコミュニケーションをとって楽しい時間を過ごして頂くことを大切にしているのがわかり、今日参加できてよかった。

福島様（民生委員）

利用される方の1日を最高の1日にする為に努力されていることに感動しました。

その1日をどういう1日にするのか、皆さんの思いに支えられてその1日があるのだと理解できた。

野原様（nagomi 成城店）

現役で仕事をしていて、頭の方はしっかりしているが身体機能の低下を感じている。ここに来て楽しく体操をしている。

■まとめ（あんしんすこやかセンター：宇野様）

事業所が集まって事故の報告をする・共有事項ができて他の事業所の工夫していることを知れる良い機会となる。利用者の抱え込み防止ということもある為、利用者様に参加していただくことも良いこと。地域の方にも参加して頂いてデイサービスを知ってもらい良い機会にもなっている。会議の中で毎日のミーティングで変化のある方の見直し・月1回の見直しなど頻度が違ったとしても事故が起こる前に見直しができていることが良いところだと感じた。その方の自立を妨げない・できることを奪わないような取り組みができると良い。見直しの部分で下げるだけではなく、できることを伸ばすことを引き続きお願いをしたい。

イベント・レクリエーションなど、ご利用者に人気だった物の報告があっても良いのではと思う。マイナスの報告だけではなく、必須事項である事故報告に加えて「この地域のデイサービスを良い方向にして行こう」という会議でも良いと思う。

次回開催：R7.9月未明

幹事：是永様（タガヤセ大蔵デイ）

司会：未定。

書記：未定。